

にじのはしファンド サポーターのみなさまへ

沖縄は梅雨の季節になりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

おかげさまで、2012年度は優くんに加え、
愛美さん、かでかわさん、栄行くん、HALさん、さやかさん、
合計6名のお子さんのサポートも順調に進んでいます。

そして新聞やテレビで取り上げていただき、
沖縄県内だけでなく県外からのサポーター希望も増えています。

なお、初めての決算報告書を作成いたしました。
ブログでも公開しています。どうぞご確認下さい。

この1年の活動を振り返り、事務局としていくつか運営に関する反省や
それを通しての改善・変更が必要となりました。
詳細は以下の「事務局からのお知らせ」に記載しましたので、ぜひご一読下さい。

皆さまお一人お一人の温かいサポートによって、
6名の学生へ仕送りが継続できますことを、心より感謝申し上げます。
これからも、皆さまと一緒に子どもたちの将来を応援していきたいと思えます。
どうぞよろしくお願ひ致します。

2012年5月 にじのはしファンド代表 糸数未希

2011年度 にじのはしファンド

活動報告

2011年1月8日、にじのはしファンド設立。
 4月より、後嵩西 優くん(山口福祉文化大学 当時3年生)へ月額5万円の送金支援を開始。
 10~2012年2月にかけてH24年度支援希望を県内各養護施設にて学生募集。
 最終的にH24年度は新規5名を含む合計6名の学生へ送金支援を決定。

収支明細報告書

収入		支出	
内訳	金額	内訳	金額
会費収入	1,751,528	サポート事業費	600,000
寄付	963,896	次期繰越金	2,115,490
利息	66		
計	2,715,490		2,715,490

事務局負担分

収入		支出	
内訳	金額	内訳	金額
事務局自己負担	182,814	引落システム利用料	57,750
寄付(事務経費として)	10,000	引落手数料	69,200
寄付(切手)	5,600	通信費	46,818
		事務用品費	24,646
計	198,414	計	198,414

※この他にも、切手(現物)でのご寄付を頂きました。
 サポーターご希望の方への資料発送に使わせて頂きました。
 この場をお借りして、御礼申し上げます。

毎月の自動引き落としでのサポーター会費は「会費収入」の欄に計上、
 不定期にお振込みいただいた分は「寄付」の欄に計上されています。
 H23年度は、サポーターからの収入はすべてサポート事業費(学生への送金)と
 次年度(H24年度)繰越金になっています。

書類発送やその他にかかる事務経費は、事務局スタッフが各々自己負担でまかないましたので
 別会計として表を2つに分けてあります。

監査報告書

にじのはしファンドより要請がありました平成23(2011)年度の会計について、平成24年5月15日(火)、16日(水)に監査を実施いたしました。

1. 収入については、徴収台帳と照合したところ、一致していることを確認しました。
2. 支出については、サポート事業費として適正に支出されており、残金が以下の預金口座に保管されていることを確認しました。


琉球銀行 寄宮支店	318,085 円
沖縄銀行 崇元寺支店	475,715 円
沖縄海邦銀行 寄宮支店	80,177 円
沖縄県労働金庫 本店営業部	128,767 円
ゆうちょ銀行	1,112,746 円

上記の通り監査結果を報告いたします。

平成24年5月16日

にじのはしファンド
代表 糸数 未希 殿

平成23年度監査

伊志嶺 みゆき 

H24(2012)年度 活動計画案

	事務局	支援学生
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度支援金送金開始(月頭に送金) ・支援学生からの近況報告公開(ブログ) ・前年度決算資料作成 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・決算報告(ペーパー、ブログ) ・1日、2日(支援金送金) ・8日 引落手続き 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・支援金引落日変更(毎月27日) ・ボーナス・キャンペーン(カンパ依頼) 	
7月		<ul style="list-style-type: none"> ・新年度支援金受給開始 (毎月1日もしくは2日に入金) ・支援者宛てに近況報告 (毎月中旬頃に事務局へメール送信)
8月	活動費助成金申請	
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度支援学生募集説明 (県内児童養護施設) ・次年度支援学生面接(~3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日受給(優くん、かでかわさん、愛美さん) ・2日受給(HALさん、栄行くん、さやかさん)
11月	学生便り(ペーパー)発送 郵送希望のサポーターのみ対象	10月頃~ 次年度支援希望申し込み
12月	・ボーナス・キャンペーン(カンパ依頼)	
1月		
2月		
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度支援学生最終人数決定 ・年度末締め(各金融機関の口座記帳) ・サポーターへのお礼(ブログ) 	

2012年度 予算案

収入の部

科目	2011年度 決算額	予算額	備考
会費	1,751,528	3,360,000	毎月サポート会員(今年末203口→目標280口)
寄付金	963,896	1,000,000	ポ一ナスカンパ等
寄付(経費・切手)	15,600	-	
事務局自己負担 / 助成金	182,814	100,000	事務局経費獲得のため助成金申請予定
雑収入	66	-	利息
前期繰越金	0	2,115,490	資格取得補助、サポート額変更、次年度貯蓄
合計	2,913,904	6,575,490	

支出の部

科目	2011年度 決算額	予算額	備考
サポート事業費	600,000	2,268,000	学生1名分(5万円/月)→6名分(18万9千円/月)
引落手数料	69,200	336,000	手数料(280口×100円/月)
引落システム利用料	57,750	12,000	琉銀・沖銀・海銀→リウコム一本化(1,000円/月)
通信費	46,818	65,000	電話料,切手
事務用品費	24,646	20,000	封筒、用紙
次期繰越金	2,115,490	3,874,490	
合計	2,913,904	6,575,490	

事務局からのお知らせ（重要）

今年3月8日付のブログでお知らせしました運営の変更に関して、
ブログ環境がない方にはご案内を差し上げず申し訳ございませんでした。
この場をかりてお詫び申し上げます。
今年度からの運用に関して、皆さまにご理解・ご協力を頂きたい内容（変更点）が
4つあります。どうかよろしくお願ひします。
以下がその経緯と内容となります。ご確認下さい。

- 変更点① サポート継続の意思確認時期を5月へ変更し、今後は随時受付いたします。
- 変更点② H24年6月から引落日を毎月10日から27日へ変更します。
- 変更点③ H24年度から引落手数料のご負担をお願いします。
- 変更点④ お子さんたちのお便り送付月を6月・12月から5月・11月に変更します。

～ 以下、変更点の詳細です ～

変更点① サポート継続の意思確認時期を5月へ変更し、今後は随時受付いたします。

にじのはし創立当初～ 平成23（2011）年度	→ 平成24（2012）年度以降の変更箇所
<p>●サポートを継続するかどうかを、年に1度メールかお電話で確認する（3月予定）</p> <p>（問題点）</p> <ul style="list-style-type: none">・サポーターの皆さま全員のメールアドレスを把握していない。・お電話での確認だと件数も多く、ボランティア作業では間に合わない。 <p>（改善策）</p> <ul style="list-style-type: none">・往復ハガキ等で確認事項を郵送して意思確認するのが確実ではないか。・事務局経費節約との兼ね合いを図り、意思確認のための文書を3月発送ではなく5月に発送予定の決算書類と一緒に皆さまにお送りしてはどうか。	<p>H24年5月（=今回）の意思確認以降は、年1回の継続確認については省略し、お申し出がない限り、継続して引き落としさせていただきます。</p> <p>（会員増加に伴う管理の煩雑さ解消の為）</p>

当会の入会・退会は基本的に自由です。いつでも入会・退会できます。
お気軽に、事務局までメールもしくはお電話ください。

*退会する場合は、退会希望月の10日までにご連絡下さい。

変更点② H24年6月から引落日を毎月10日から27日へ変更します。

にじのはし創立当初～ 平成23(2011)年度	平成24(2012)年度以降の変更箇所
<p>●今まで県内地方銀行3行と契約し、銀行引落システム利用料（琉銀・沖銀・海銀は各2100円/月、ゆうちょ・ろうきんは無し）を事務局負担で運営してきた。</p> <p>●引落件数に応じて別途発生する引落手数料も事務局負担でまかっている。</p> <p>(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想以上に自動引落の為の経費がかかる。 ・当会が提携している金融機関（琉銀・沖銀・海銀、ゆうちょ、ろうきん）以外からの自動引落しができない。 <p>(改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の銀行からも自動引落ができるシステムがないだろうか。 ・引落にかかる経費以外にも運営費（書類発送にかかる紙・封筒・切手代、窓口電話代、インク等消耗品代など）があるので、少しでも経費を削減したい。 	<p>6月から㈱リウコムと契約することで引落システムを1本化、毎月のシステム利用料が1000円になることで経費削減をはかります。</p> <p>また、県内外の銀行引落が可能となります。</p>

現在ゆうちょ、ろうきんをご利用の方はリウコムへの移行手続きが必要です。大変お手数ですが、別途手続きが発生しますので添付の別紙をご覧ください。

変更点③ H24年度から引落手数料のご負担をお願いします。

決算書作成をとおして、私たちは約1年の活動を振り返りました。

発足当初の方針として、まずはお子さんに毎月定額を確実に送金することを優先させ、引落経費は事務局が負担、寄付金は全てお子さんの仕送りに使わせていただきました。

おかげさまで、現在6名の仕送りにも目処が立ちました。

しかし、この引落経費だけでも昨年度の事務局負担額が12万円を超える高額となり、今年度のことも考えると事務局だけの負担では継続支援が厳しい状況です。

にじのはし創立当初～ 平成23(2011)年度	平成24(2012)年度以降の変更箇所
<p>●これまで事務局負担としていた銀行引落し経費は1年間で12万余りかかった事が決算報告の過程で把握できた。</p> <p>(問題点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局負担が大きくなると、運営を継続や後継者育成が困難になる。 <p>(改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局の負担軽減が必要。 	<p>サポーターの皆さまからの引落金額より引落手数料を差し引かせていただき、残り全てを子どもたちへのサポートに充てたいと思います。</p> <p>引落手数料は㈱リウコムに移行することで1回1000円となります。</p> <p>（リウコム移行前の手数料については各行異なります）</p>

この変更による、皆さまからの毎月の引落額は変わりません。

その他の電話・切手・文具代、銀行引落システム利用料は引き続き事務局で負担します。個別に「事務経費として寄付します」とご連絡をいただいている会費・寄付金については、ありがたく経費として使わせていただき、決算報告の際に皆さまへご報告いたします。

変更点④ お子さんたちのお便り送付月を6月・12月から5月・11月に変更します。

変更点①と同様、事務局経費節約のため郵送物はできるだけまとめてお送りいたします。

にじのはし創立当初～ 平成23（2011）年度	平成24（2012）年度以降の変更箇所
<p>●お便りの発送は6月と12月の年2回の予定。</p> <p>（問題点）</p> <ul style="list-style-type: none">・5月に決算報告書をサポーター皆さまにお送りするが、翌月6月にもお子さんのお便りを郵送すると、作業と切手代が二重にかかる。 <p>（改善策）</p> <ul style="list-style-type: none">・経費節約と作業負担軽減のため、今回から発送は5月を基点に修正してはどうか。	<p>これからは毎年5月の決算報告書と一緒に郵送したいと思います。</p> <p>またお便りは半年に一度お送りしますので、5月の次はその半年後の11月に郵送します。</p> <p>* 郵送は希望者のみ</p>

お子さんのお便りの郵送は、希望者のみに行なっています。

今回、返信用ハガキを同封しておりますので今後のお便りの受け取り方法を郵送 / ブログ記事のどちらかをご選択の上、○印をつけて忘れずにご返送ください。

ブログで確認できる方は、月1回のお子さんからの近況報告をブログ更新に合わせてタイムリーに読むことができます。

ブログへの読者登録をよろしくお願いします。

～ 変更点の詳細 ここまで ～

以上、多くの変更点があり、皆さまには大変お手数をおかけします。

子どもたちのサポートをよりよく継続できるよう、事務局も頑張りたいと思います。

ご理解・ご協力に感謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

にじのはしファンドではサポーターを随時大募集しています！

●お友だちをご紹介いただけますか

- ⇒ 皆さまの周りに、児童養護施設のお子さんについて関心をお持ちの方ににじのはしファンドの活動についてご紹介いただけますか？
もし、その方のご承諾がいただけましたら、事務局にご連絡下さい。
こちらから資料をお送りします。

●サポート口数を増やしていただけますか

- ⇒ 重ね重ね厚かましいお願いだとは思いますが、もし口数を増やしてサポートできる方がいらっしゃいましたら、事務局へお電話下さい。
その際に希望の口数と開始月をお伝え下さい。

《にじのはしファンド事務局》

〒902-0071 那覇市繁多川4-22-6

ブログのURL : <http://nijinohashi-fund.blogspot.jp/>

「にじのはしファンド」で検索！

メールアドレス : nijinohashi.okinawa@gmail.com

(ニジノハシ ドット オキナワ アットマーク ジーメール ドット コム)

電 話 : 070-5691-9081

(電話番号変わりました！ 担当:窪田…夜は午後8時まで)

*留守番電話の場合は、こちらから折り返しお電話差し上げますので

①お名前 ②ご住所 ③連絡先電話番号、とメッセージを残して下さい。

社会人

第149話

沖縄の母 進学への夢を支える

届けよう笑顔

先月16日の夜。沖縄県南城市の児童養護施設「島添の丘」から巣立つ4人の若者を、地域の人が励ます催しがあった。

その言葉は、仕事を終えて会場に駆けつけた那覇市の会社員、糸数未希(いとかず・みき、39)にも向けられていた。

糸数は2年前、同世代の母親と、沖縄県内に8カ所ある児童養護施設の退所者を支援するボランティアを始めた。大学や専門学校への進学を望む子供たちを支える奨学金基金「にじのはしファンド」を立ち上げ、有志から浄財を募っている。

「私の夢はブライダルプランナー。4月から専門学校に進学します」。2歳で施設に入り、今春普通科高校を卒業した少女(18)があいさつした。施設と家庭の区別がつかなかった幼少期。屈折した思いに悩んだ思春期を経て、前を向く気持ちに至った。心の履歴を吐露したスピーチに、会場の多くの人がハンカチで目を押しさえた。

「進学資金が必要になり多くの方から支援をいただきました。感謝し夢の実現のため頑張ります」。少女は深々と一礼し、謝辞を締めくくった。

「制限開門」改めて表明

諫早調査方法 農相、佐賀知事らに

漁業関係者は「(制限開門では)漁場改善に向けた有明海の潮流回復につながらない」と全開門を求めつつ、「開門に反対する長崎県と話し合う」



旅立ちを前に奨学生を激励する糸数未希さん(那覇市)

メドがついた。祝辞を求められた糸数はむしろ在園生に向かって呼びかけた。「近所のおじさん、おばさんとして皆さんの進学の夢を支えたい、という人もいます。支援が必要なのは手を取って。諦めずに希望を持ってください」

2児の母でもある糸数は、地域の子育てサークルの活動を通じて、虐待など困難な境遇にある子供が身近にいることを知った。「自分たちに何が

できるのだろうか」。支援の方法を模索していると、きだった。モデルとすべき実践を沖縄の戦後民衆史のなかに見いだした。

米統治下の1959年、後に那覇市議となる野崎文子(のさき・ふみ)が10歳で、毎月豆腐1丁分を節約し、年100円を積み立てた。20歳を思えない子供に奨学金に」という大衆運動を展開。チャリティー演芸会の収益金も加え、二十余年で200人の高校生に奨学金を支付した。62年から1年半の活動を原動力になり、糸数は「糸数は、児童福祉施設に足を運び、基金の趣旨を職員や子供たちに説明する。また、奨学金の給付が決まった若者と交流を密にしている。」「寄付して下さった会員に、奨学生の横顔や近況を伝え、ともに見守ってほしい」からだ。

那覇市の児童養護施設「石嶺児童園」を退所し

「お金をいたただけでなく会員のお宅に食事に招かれ、しっかり勉強しろと励ましていただいた」と述懐する。

民間の奨学金は数多く存在する。だが、主婦がやりくりしたささやかなお金で、逆境の同胞の自立を支える。「これほどぬくもりに満ちた実践があるでしょうか。私たちが活動の原動力になりました」と糸数はいう。

仲間とともに、勤務先で、街角で、奨学金へ心の思い起こし、引き継いでいきたい」と糸数はいう。苦しいときにも笑みを絶やさず、よく働き、助け合っ。家族や地域を支えてきた沖縄の母たちの美質が脈打っている。

敬称略 (編集委員 和歌山章彦)

「感想や自らの体験談を「社会人取材班」まで、ファクス(098・6256・2771)、手紙、電子メール(Shakari@kyo.nikkei.co.jp)にお寄せください」

団に「佐賀県の求める早期開門の実現は難しいと感じたが、段階的な全開門という旗を降ろすつもりはない」と強調。長崎県以外の関係各県と

米兵2人を
沖縄で逮捕
器物損壊容疑など

沖縄県警は7日、器物損壊容疑で玉中浦米兵